

経営者が描く

企業のエンディングノート

ウィズコロナの継続、海外情勢不安による世界経済の悪化、そして円安、物価高などにより国内経済は今までの低迷にさらに拍車が掛かっています。

そのような状況下において、日本の全企業の99.7%を占める中小企業は、そのうち70%が赤字になっています。

しかも、そこで働く従業員数は日本全体の60%を占めています。

こうした二極化した経済構造や収入構造は、今後ますます極端になっていくことは容易に推測できます。

近いうちに、中小企業の大量倒産が始まると予想される中で、「繋いでいくこと」と「ソフトランディングしていくこと」は2つの重要な課題です。

全国中小企業団体中央会は、中小企業と併走して、補助金を始めいろいろな支援で「繋いでいくこと」を応援し、我々行政書士は、最悪な状態を裂けるべく「ソフトランディングしていくこと」を担っていきたいと思います。

そのために、行政書士にできることとして、「企業のエンディングノート」の活用をしていきたいと考えます。